

わたしの旅

ホームステイの思い出

大迫明子(兵庫県西宮市)

きっかけはホームステイへのお誘い

子供の頃からの夢であった海外旅行に、初めて行ったのは23歳の頃でした。その当時、なんと1ドルが360円という時代でした。子供心に夢を実現すると言うのが私の信念で、実現した初めての海外旅行はフランスでした。フランスに着いた瞬間、なんて美しいだろうと感動したこと、これは今でも忘れられません。まだ若かったからでしょうか、夢が実現したこととフランスの美しさが私を海外への虜にしまいました。

数多く旅をして、その国の文化をもっと知りたい、住んでいる人々との交流ができればいいなと思うようになっていきました。子ども達を海外でホームステイさせている国際交流会の先生のお誘いが、きっかけでした。主婦の人達の海外ホームステイをしたいという希望が膨らみ、計画を実行することになったので参加しませんかと、お声をかけていただき私の夢が実現することになりました。43歳から15年間、毎年いろいろな国でホームステイをし、その国の文化を学ぶことができました。この15年間の経験での思い出は、どんなに素晴らしい海外旅行にも勝る最高のものとなり、私の心の大切な財産になっています。

ホームステイ先での貴重な体験

ホームステイした国は、アメリカ合衆国、ニュージーランド、オーストラリア、カナダ、フランス、ポーランド、ブルガリアなどなどです。

初めてのホームステイは、オーストラリアでした。初めてということで、ホストファミリーと会う際少々緊張しましたが、ホストは笑顔で、「一緒にいる間あなたは家族だ」と言われ緊張がほぐれました。素晴らしいホストと楽しい日々を過ごすことができました。目と目が合えばいつも微笑を返してくれるホストからは、日本人に足りない微笑みの素晴らしさを学びました。

カナダのシャーロットタウンのホストは、アフリカから来た黒人の大学の教授でした。

とても楽しいご夫妻で、食後のコーヒーを広い庭で楽しみました。音楽がかかると踊り出し、明子も踊ろうといつも踊りに付き合わされました。どうして生まれた国ではなくシャーロットタウンの大学を選ばれたのかと、聞いたところアフリカには将来性が見えなかったからと話してくれました。このホストからは、アフリカの文化を学び、アフリカのお料理を毎日いただきました。素晴らしい体験をすることができました。



アメリカ・コロラド州の田舎町クレストンでもホームステイをしました。人口が500人という小さな町でした。隣の家へ行くのに車で20分、マーケットまで車で30分、家はサバンナの中の一軒家のような感じです。家の周りには何もありませんでした。夜になると真っ暗で、コヨーテのなき声が聞こえてきました。朝食はいつもお庭でしたが、飛んできた鳥が手のひらに乗せたパンくずを食べてくれました。鳥もまるでペットのようです。

ホームステイでとりわけ思い出深いのは、ニュージーランドにあるポリテックス・インターナショナルカレッジで学んだことです。ペーパーテストやヒヤリングテストそしてインタビューテストを受けて、クラスが決められました。いろいろな国から来た学生と一緒に学べて、これは夢のような体験でした。昼食はカフェテリアで摂り、午後は自分が選択した学科に励みました。



ホームステイで体得したこと

ホームステイを通して学んだことは、幸せの価値観を体得したこと。優しい眼差し、優しい語りかけ、自然な触れ合いなどです。これらは、なにも難しいことではなく、それがあただけで幸せを感じられるものでした。

数多くの海外ホームステイに出してくれた主人の理解や、亡き私の両親の協力があったからこそ実現できたので、今こそ感謝の気持ちでいっぱいです。

